

フィリピン洪水リスク
管理事業の一部が竣工

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバルがフィリピ
ンのカガヤン・デ・オロ市
で施工管理を担当する「フ
ィリピン国カガヤン・デ・オ
ロ川洪水リスク管理事業」
のうち、パッケージ2工区
の竣工式が5月26日に現地
で開かれた。式典にはフィ
リピン公共事業道路省のマ
ヌエル・ポノアン大臣、木
下覚人在フィリピン日本国
大使館二等書記官、柳内将
成国際協力機構（JICA）

フィリピン事務所次長らが
出席した。

カガヤン・デ・オロ市は
ミンダナオ島第2の都市。

フィリピンメトロ圏の指定

も予定されており、今後の

経済発展が見込まれてい

る。河川の洪水リスク管理

事業では、カガヤン・デ・

オロ川河口から10^キの河道

区間を対象に、洪水対策用

の連続堤防と併設道路、親

水遊歩道などを建設する。

施工は東洋建設が担当す

る。

同事業では契約パッケージ

1が並行しており、うちパ
ッケージ2は3月に完成

し、5月に式典を開催した。
12月に予定されているパッ
ッケージ3の完成をもってプ
ロジェクト全体が完了す
る。